

2018年8月24日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

独立行政法人日本学生支援機構が 発行するソーシャルボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構が発行するソーシャルボンド⁽¹⁾（第 52 回債、2 年債 300 億円）の引受けにおいて事務主幹事を務め、本日、同ソーシャルボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

日本学生支援機構が実施する奨学金事業は、日本国憲法第 26 条や教育基本法第 4 条に定められる「教育の機会均等」の理念の下、国の教育政策の一環として遂行されており、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の目標 4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に貢献します。本債券により調達された資金は、全額が貸与奨学金の財源として充当される予定であり、ソーシャルボンドとしての適合性についてセカンドオピニオンを取得しています⁽²⁾。我が国の社会的課題に対応するソーシャルボンドは国内公募債としては初の事例であり、国内 ESG 債市場の発展に貢献する起債となります。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、社会貢献分野においてもソーシャルボンドの引受けをはじめ、インベストメント・チェーンの高度化や金融機能を通じたお客さまの成長への貢献、証券プロフェッショナルとしての社員スキルおよびお客さま満足度の向上、より良い職場環境作り、ボランティア活動等に取り組んでいます。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界の ESG 投資⁽³⁾が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は責任ある証券会社としての責務を果たし、環境や社会との共生、経済・企業との安定的な成長共有の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本ソーシャルボンドの概要)

債券名： 第52回日本学生支援債券

取得格付： AA (株式会社格付投資情報センター)、AAA (株式会社日本格付研究所)

年限： 2年 (2020年9月18日償還)

発行総額： 300億円

利率： 年0.001%

発行価格： 各債券の金額100円につき金100円00銭2厘

発行日： 2018年9月7日

主幹事： 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社、野村証券株式会社

- (1) ソーシャルボンドは、社会的課題の解決に資するプロジェクト (ソーシャルプロジェクト) の資金調達のために発行される債券のこと。
- (2) ICMA (International Capital Market Association/国際資本市場協会) が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、世界有数の ESG 評価機関であるヴィジオアイリス (Vigeo Eiris・フランス) からセカンドオピニオンを取得している。
- (3) ESG 投資は、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の英語の頭文字を合わせた言葉であり、これらの要素に配慮している企業を重視・選別して行う投資のこと。

以上